

よだかの星^{ほし}

宮沢賢治 [原作]

NPO多言語多読 [監修]

Taishukan
Japanese
Readers

Level

3





よだかは、とても醜い鳥です。顔は茶色で、口は大き
くて耳まで続いています。足は弱くてあまり歩くことが
できません。

他の鳥は、よだかを見ると、嫌な気持ちになっ
てしま
います。みんな、よだかよりは自分の方がきれいだと
思っていました。だから、よだかに会うと、とても嫌
うに他の方を見ます。話し好きの鳥たちは、いつも、よ
だかの前で悪口を言います。

「よだかが、また出てきたね。見てよ。あれでも鳥な
の？ 鳥だと思いたくないね」

「ああ。口がとても大きくて変だ」
いつも、こうです。

よだかは、漢字で「夜鷹」と書きます。名前に

「鷹」が入っています。たかではありません。

「鷹」は、大きくて強い鳥です。小さな鳥たちは、

その名前を聞いただけで怖くなります。そして、す

ぐ逃げます。

よだかは、美しいかわせみや、きれいなはちすず

めの兄弟でした。かわせみは魚を食べ、はちすず

めは花の甘い蜜を吸います。でも、よだかは、小さな虫を食べるのです。

名前の中に「鷹」という字があるのは、よだかの羽がとても強くて、飛ぶと、たかのよ

うだからです。そして、声もたかのようにだからです。

たかは、よだかという名前が嫌でした。だから、よだかの顔を見ると、「早く名前を変

えろ。名前を変えろ」と言うのでした。



よだかは、美しいかわせみや、きれいな
はちすずめの兄弟でした。

よだかの星^{ほし}

よだかは醜^{みにく}い鳥^{どり}で、他^{ほか}の鳥^{どり}たちから悪口^{わるぐち}を言^いわれます。

ある日^ひ、鷹^{たか}が「たか」の名^な前^{まえ}を使^{つか}うな、と^いいます。

すると、よだかは…。宮沢賢治^{みやざわけんじ}の童話^{どうわ}。

The Star of the Night Hawk

Night Hawk has always been bullied by other birds because of his ugliness. One day, Hawk demands that Night Hawk not use “hawk” in his name. There is nothing he can do but...

By Miyaszawa Kenji, a 20th-century author.



0 入門 Starter

1 初級前半 Beginner

2 初級後半 Elementary

3 初中級 Pre-Intermediate

4 中級 Intermediate

5 中上級 Pre-Advanced
